

年間授業計画【新様式】

高等学校 令和8年度（3・4学年用）教科 芸術 科目 美術Ⅱ

教科：芸術 科目：美術Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第3・4学年

教科担当者：水口 秀樹

使用教科書：（「美術2」（光村図書））

教科 芸術 の目標：

芸術Ⅰの学習を基礎にしてさらに学習を深め、芸術の創造的な活動を通して、生活や社会の中の美術文化と深く関わる資質や、感性と美意識を磨き個性豊かな芸術の能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けることで、「知識及び技法」を自分らしく使って何が出来るか、どのように問題に対処できるかと、活用、応用できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 表現活動を通じた発想や構想と、鑑賞に関する資質・能力を総合的且つ効果的な育成を目指す。

【学びに向かう力、人間性等】 主体的鑑賞や表現活動への取り組みにとどまらず、学んだことをこれからの人生や生活に生かそうとする態度や生涯にわたり芸術を愛好する心情を育む。

科目 美術Ⅱ の目標：

美術を広く創造として捉えることで感性を高め、美的体験を通して個性豊かな表現と鑑賞能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、生涯にわたり美術を愛好する心情を育む。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図や創造的工夫、美術の働きなどについて考えとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 彫	デ 映							
1 学 期	オリエンテーション	自己紹介 美術Ⅱ選択の理由 美術の進路に向けての在り方					【知識・技能】 美術Ⅰの美術表現を振り返りながら、自らのイメージや体験などの知識を基に創作することを理解する。 【思考・判断・表現】 美術の造形的な特長を感じ取り、自己体験・価値観を意識し、歴史的造形作品の作者の意図と創造的な表現の工夫などについて考え、自己の見方や感じ方を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 美術Ⅱの主体的な授業に対する姿勢が、進路活動をより具現化することを理解する。				4
	画材探求-応用① ポスター (モチーフ：文化祭)	文化祭ポスター作成の目的 デザインウッチング 目的に沿ったアイディアスケッチ 画面の構図決め 4字体からのレタリングを選択 ボードに下描き(色鉛筆で配色) 配色計画に沿ったバックから着色 図案・レタリングの順に着色 相互講習会					【知識・技能】 アクリル絵具の特長を踏まえて、明色から暗色への着色、中間色の作成と効果、レタリングの仕上げによる完成度を知る。 【思考・判断・表現】 既存のポスターなどを写真撮影するなどして情報収集し、「蒼天祭」を外部に紹介する意識的效果に見合うイメージの構築と配色表現ができています。 【主体的に学習に取り組む態度】 ポスターの創作に真摯に取り組んでいる。				26

